

<第1時>

(1) 本時の目標

- 自分の朝食を振り返り，既習内容を生かした課題を設定することができる。(工夫・創造)
- 朝食の大切さについて理解する。(知識・理解)

(2) 本時の学習指導過程

	学習活動	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 これまでの食生活の学習に関する内容を確認する。	(1) 「ウェビング法」を用い，これまでの学習内容を想起させ，本時の学習へとつなぐ。	【知識・理解ア】 朝食が大切な理由を3つ言える。 〈確認テスト〉 ※支援…資料を確認させる。
	2 朝食調べから気付いたことをワークシートに記入する。	(2) 1週間分の朝食調べから，特に欠食，食事内容（一汁三菜）や食文化（和食）に関する気付きを記入させることにより，課題への意識を高める。	
	3 なぜ朝食が必要かを考える。	(3) 朝食摂取による体温の変化や学習への影響等をグラフを活用し視覚的にとらえさせることにより，朝食の重要性を理解させる。	
	4 本時の学習課題を確認する。	(4) 黒板に今後6時間分の学習の流れを掲示することにより，見通しをもたせる。	
朝食づくりのグループの課題を決めよう。			
課題解決の準備・実践	5 各自で朝食づくりを通して，更に学習したい課題を考える。	(5) 「栄養のバランスのとれた朝食」は共通課題であることを確認し，他の学習内容から更に課題を加えることを伝える。	【工夫・創造ア】 朝食調べや，既習内容から自分の課題を設定することができる。〈ワークシート〉 ※支援…朝食調べの視点やウェビング図を参考にさせる。
	6 個人の課題ごとにグループを作り（5人程度），グループの課題を決定する。	(6) 人数がそろわない場合は，2つの課題を合わせてよいことを伝え，一人一人の課題が解決していけるように配慮する。	
	7 グループの課題に必要な既習内容を確認する。	(7) 課題に沿った朝食の献立を作成するために，活用する既習内容を，ウェビング図を用いて確認するよう指示する。	
評価・実践化	8 家庭での「朝食づくり調査」の項目を確認し，次時への見通しをもつ。	(8) 次時までには家庭で「朝食づくり調査」を行うように指示する。その際，グループの課題に沿って調査項目を増やしてよいことを伝える。	